

# 白根地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画

平成28年度～32年度

## 地区別 計画



白根地区は、区の東部に位置し、帷子川に流れ込む中堀川を軸に、東西に延びる両側の丘陵地域です。丘陵地は住宅地となっています。区域の南端を国道16号が通り、区域西を白根通りが縦断しています。

人口は横ばいを続けている地区で、高齢者層の率は区の平均より低くなっています。

### ■めざす地区の姿

#### 人と人とのつながりを広げていこう！～ふれあい支えあうまち白根～

### ■3期計画の主なポイント

- ・交流の場が緩やかな見守りとして、ちょっとした相談の場として、情報交換の場として、活用されている。
- ・お互いに助け合う連帯感が生まれ、より安全・安心で暮らしやすいまちになっている。
- ・継続的に活動に加わっている人が増えている。
- ・子育て世代が支援を受けるだけでなく、担い手として地域活動に参加している。
- ・多世代の人に情報が届くようになり、地域行事や活動への参加者が増えている。
- ・地域ケアプラザを核にした地域ネットワークが機能し、情報共有システムができています。

### ■目標A

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり 3 地域の取組で元気力アップ

## ふれあい交流の場を増やそう

### ■具体的な取組

#### A-1 地域交流サロンの充実と新規開設を図る

- ・子どもから高齢者まで気軽に立ち寄り、交流できる居場所をつくる。町内会自治会館の利用促進、現在実施されているサロン活動の充実を図る。

＊地域支援補助金の申請

＊町内会自治会と各団体、支援グループとの連携、協働した運営が不可欠である。

#### A-2 保育園、幼稚園、小学生、学童保育所児童と高齢者の交流の場を増やす

- ・現在実施されている地域の行事やボランティア活動に世代間交流の機会を増やす。

＊ひとり暮らし高齢者白根ふれあい昼食会

＊ジュニアボランティア福祉体験活動等

- ・民児協・青少年指協・子育て支援団体

#### A-3 小学校の個別支援学級に通う障害児とその保護者、地域との交流事業に取り組む

- ・障害児余暇支援事業「なかよし」の取組を充実させる。
- ・白根地域ケアプラザ、福寿荘、民児協、支援グループによる連携した事業運営を構築する。

#### A-4 まちの美化運動、公園愛護会活動への参加を促進する

- ・農作業を通じた交流の場の提供

＊菜園・花壇づくりによる交流

＊環境事業推進協・公園愛護会・町内会自治会ボランティアとの連携

#### A-5 町内会自治会が中心となり、身近なところでの健康づくり活動を実施していく

- ・町内会自治会館、近隣の公園を利用した「健康講座」「健康体操」「ラジオ体操」の実施
- ・「みな元気 旭！ステーション」「元気づくりステーション」への参加促進
- ・まちぐるみ健康づくり教室（ウォーキング）の継続実施：健康づくり活動部会の取組

#### A-6 町内会自治会単位の主催による高齢者や子どもを対象とした交流行事、支援活動の取組

- ・町内会自治会の役員や班長又は組長で担うことができる活動、行事から始める。見守り活動、防災・防犯活動、会館や公園を利用した交流活動の実施



## 活動の担い手を広げよう

### ■具体的な取組

#### B-1 あらゆる世代が負担を感じず、気軽に活動に参加できるきっかけづくりの場を提供する

- ・白根カーニバル支援ボランティアの募集  
カーニバル実行委員会による受入促進
- ・地域で活動するボランティア団体の情報提供  
福祉保健広報誌「ふくほしらね」で告知



#### B-2 みらい塾受講者の地区からの積極的な推薦と受講後の地域活動への参加

- ・地域の各団体、ボランティア支援グループが受入環境を整える。活動の担い手として役割分担を明確にする。

#### B-3 リタイア世代の能力(資格・特技・趣味)を活かした、地域活動ができる人材の発掘と登用

- ・受入窓口を明確にする。\*福祉保健推進委員会による告知と受入体制の整備、各町内会自治会、団体からの推薦・紹介の促進

#### B-4 各団体や支援グループが独自に実施している支援事業・行事での各委員や担い手の相互交流の機会を増やす

- ・各団体の横のつながり、委員同士の相互交流の促進、団体同士が連携した地域活動を進める。  
\*各団体、支援グループのリーダーによる情報交換・話し合いの場をつくる。  
\*福祉保健推進委員会の役割  
\*各団体同士の連携協働により活動の担い手不足の解消につながると考えられる。

#### B-5 学校と連携した小・中・高校生によるボランティア活動、福祉体験活動参加を積極的に受け入れる

- ・小中学校への呼びかけ\*行事・活動の告知  
児童、生徒、保護者、PTAへ理解を深める
- ・地元高校生徒の地域交流活動行事参加受入を広げる。
- ・地区青少年指導協、民児協との連携した交流事業を企画する。

## 安心して暮らせるまちづくりを進めよう

### ■具体的な取組

#### C-1 災害時要援護者支援の体制づくりを推進する

- ・地区町内会自治会連合会全体で統一した区からの災害時要援護者名簿を活用する。区と協定締結後の体制づくりの過程で、地域独自で名簿以外の対象者の把握を行う。
- ・各町内会自治会の班又は組単位での支援の仕組みをつくる。

#### C-2 町内会自治会、各団体の連携による地域ぐるみの「見守り」活動を実施する

- ・各町内会での防犯パトロールの実施
- ・小学校児童の登下校「見守り」活動継続
- ・独居高齢者定期訪問「見守り」活動継続
- ・不動の森「学援隊」・民児協委員活動に加えた地域の支援ボランティアの参加を募る。

#### C-3 あいさつ・声かけ運動を継続して推進する

- ・ポスター、チラシによる広報啓発活動実施  
カラーポスターを作成し、町内会自治会掲示板、ごみ集積場、地区公共施設等に掲示

#### C-4 向こう三軒両隣の「顔の見える関係づくり」を推進する

- ・町内会自治会の班又は組単位での清掃活動の継続と新たな実施
- ・日常のあいさつ・声かけの奨励  
\*町内会自治会館、集会場の利用による身近な近隣の交流活動の実施



## ■目標D

## 地域で情報を伝え合おう

## ■具体的な取組

**D-1 地域とのつながりが薄く、情報が伝えにくい高齢者等に口コミや手渡しにより情報を伝達する**

- ・町内会自治会班長や役員による訪問伝達
- ・民生委員の訪問、戸別配付による情報伝達
- ・地域行事開催時に口頭、文書での伝達
- ・町内会自治会未加入世帯への加入勧誘

**D-2 町内会自治会による「回覧」での情報伝達の効用見直しを図る**

- ・地区町内会自治会理事会で各会長に役員会で見直しを依頼する。
- ・各町内会自治会独自で広報活動、情報伝達方法の工夫を検討する。  
\* 独自作成の文書回覧、各戸配付の文書作成

**D-3 地域ケアプラザと各町内会自治会との連携による情報発信を促進する**

- ・地域ケアプラザの情報コーナーの活用
- ・地域ケアプラザの広報紙に情報掲載依頼

**D-4 地域の中に様々な情報が集まる公共の場や施設を活用する**

- ・町内会自治会館に情報コーナー設置
- ・小・中学校、幼稚園、保育園、地域団体施設、公共施設に積極的に配置依頼

**D-5 地域の活動団体、ボランティア支援グループ等の活動情報について、地域全体で情報共有する**

- ・情報公開、情報伝達方法を工夫  
\* 地区連合会理事会での文書配布・回覧  
\* 各団体代表による情報交換の場を設ける。

**D-6 地域福祉保健情報誌「ふくほしらね」の誌面充実を目指す**

- ・記載記事の充実：地域の福祉保健活動情報に加えて、各町内会自治会ごとに独自の取組行事や活動について取り上げて掲載する。
- ・広報委員会の役割強化：福祉保健情報の収集、広報と啓発活動、ポスター、チラシの作成、地区地域福祉保健計画の統括部門とする。
- ・現在2回の発行配付のほか、必要に応じ、特別号を発行する。
- ・特別号の発行：第3期地区地域福祉保健計画の内容発表告知記事掲載特集号  
\* 第3期地区別計画内容を回覧ではなく、全世帯配付で周知することにより、福祉保健計画の目的、必要性について、地域住民により理解を深めてもらう。



## 白根地区のイベント紹介

## “白根カーニバルの開催について”

白根地区最大の地域交流イベントである「白根カーニバル」は、毎年3,000人以上の人々が集まり、様々な地域の団体・施設が、フリーマーケット、模擬店、展示コーナー等に出店、参加している。平成10年11月22日(土)に第1回を開催以後、第16回まで地区ボランティア団体「三水会」が運営してきたが、平成26年第17回から、地区社協の構成団体を中心とした「白根カーニバル実行委員会」を設立し、平成27年10月24日(土)に第18回を開催した。

- ・趣旨・目的：地域の活性化と世代間交流を深め、子どもから高齢者まで地域の多くの人々が一つの会場に集い、地域の絆を築く。
- ・不動丸小学校は、課外授業として全校児童が出席。司会進行、演技のほか、ゴミの分別まで、地域の人たちと一緒にイベントに参加。
- ・鶴ヶ峯中学校生徒会も参加。吹奏楽部が演奏(毎年出演)。



※白根地区町内会自治会連合会は、平成31年3月、設立50周年を迎える。



## ■ 2期計画から継続して3期にも取り組む活動

### ●ひとり暮らし高齢者支援

「白根ふれあい昼食会」

\*毎月1回開催

【取り組んでいる団体】

白根ふれあい昼食会

(民生委員児童委員・ボランティア)



### ●中途障害者支援

「双葉会リハビリ支援」活動

\*毎月第3火

\*民生委員が送迎担当

\*ジュニアボランティアと  
交流会

【取り組んでいる団体】

双葉会支援グループ

(民生委員児童委員・ボランティア)



### ●子育て支援

子育てサロン活動

\*毎月第2火

\*地域の未就学児童と  
保護者を対象

【取り組んでいる団体】

白根子育てサロン「ほっとステーション」

(民生委員児童委員・保健活動推進員・ボランティア)



### ●障害児余暇支援

「なかよし」交流活動

\*毎月 第1土・第4水

\*児童、保護者と地域との  
交流活動支援

【取り組んでいる団体】

白根地域ケアプラザ・民生委員児童委員協議会

福寿荘・ボランティア・子ども・子育て支援部会



### ●子ども育成支援

\*新春子ども大会

\*餅つき、凧作り

\*どんど焼き：白根不動尊境内

【取り組んでいる団体】

地区町内会自治会連合会・青少年指導員・スポーツ推進  
委員・地区福祉保健計画推進委員会

子ども育成支援活動部会



### ●あさひフレイパーク支援

\*白根公園にて開催

\*毎月 第1金

第1土

第3日

\*11月、1月、3月は、  
第2金開催

【取り組んでいる団体】

あさひフレイパーク「みんなの基地」

(地区社会福祉協議会・民生委員児童委員)



### ●防犯活動

\*地域の防犯パトロール

\*地区行事での「愛のパト  
ロール」

\*児童の登下校時の見守り、  
交通安全

\*あいさつ声かけ運動

【取り組んでいる団体】

地区町内会自治会・不動の森「学援隊」

地区民生委員児童委員・青少年指導員

鶴ヶ峯中学校 PTA

地区福祉保健推進委員会：防犯部会



### ●防災活動

\*防災訓練(9月・2月実施)

\*防災トライやる

\*避難所宿泊体験

\*災害時要援護者支援体制  
づくり

【取り組んでいる団体】

地区町内会自治会連合会

地域防災拠点運営委員会・家庭防災員

地区福祉保健計画推進委員会：防災部会



### ●地域交流活動

「小学生・中学生と地域の  
交流」

\*地域清掃活動・実習、懇談会  
鶴ヶ峯中学校、不動丸小学校  
生徒と地域の交流

【取り組んでいる団体】

青少年指導員連絡協議会

地区町内会自治会連合会



### ●健康づくり活動

「白根地区町ぐるみ健康  
づくり教室」

\*毎月1回

地区センターなど

\*健康体操、ウォーキング  
など健康づくり

【取り組んでいる団体】

地区福祉保健計画推進委員会：町ぐるみ健康づくり教室

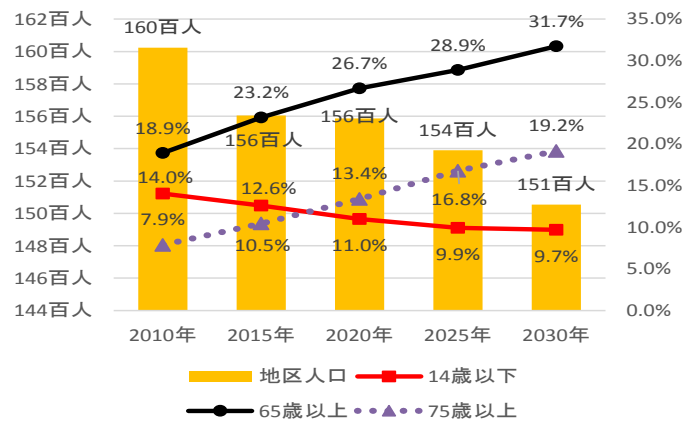
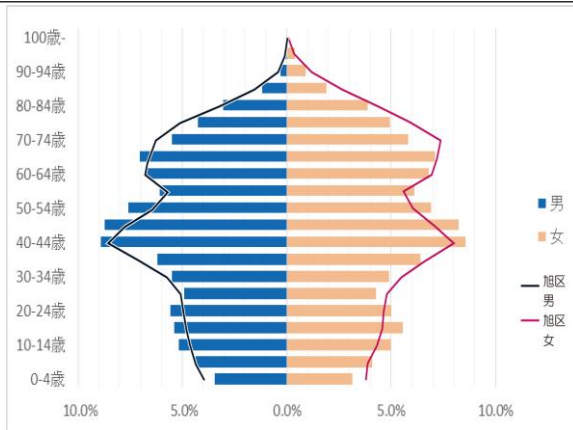
地区社会福祉協議会



## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）に比べ40歳～54歳の層の比率が高く、70歳以上の層の比率が低くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間で約400人減少しました。高齢化率は約4.3%増加しましたが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で概ね6750戸前後で推移しています。また、世帯人員は2015年で2.31人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年では約15600人、2025年では約15400人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約26.7%、2025年で約28.9%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■2期計画の振り返り

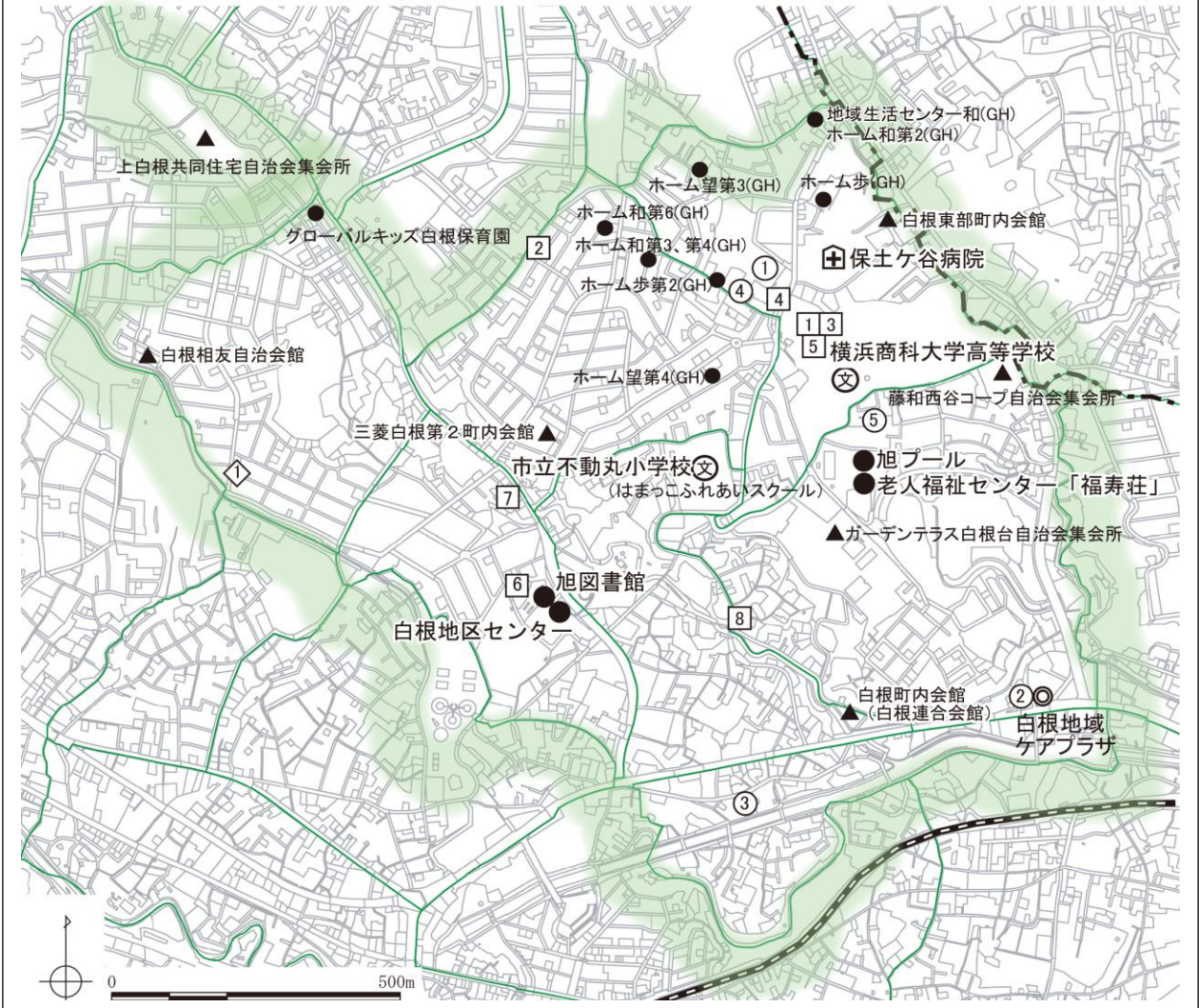
- ①地域交流の場の充実と身近な居場所づくり
- ②担い手の固定化と高齢化
- ③新たな担い手の発掘と育成による次世代への引継ぎ
- ④災害時要援護者支援体制の構築
- ⑤子育て、高齢者、障害者支援等の分野を超えた連携の促進
- ⑥地域情報伝達方法の改善

## ■地区の福祉課題

- ・世代間交流の場をつくる（幼稚園・保育園・小学校＜障害児を含む＞から高齢者）
- ・あらゆる世代が負担を感じず気軽に参加できる場づくり
- ・地域の団体相互の連携による見守り活動
- ・災害時要援護者支援の取組の推進
- ・向こう三軒両隣の顔の見える関係づくり
- ・世代間交流の場をつくる
  - \*今ある活動に世代間交流を組み込む工夫をする（プレイパーク・子育てサロンなど）
  - \*学校と連携した小・中学校の参加による福祉体験活動の充実（ジュニアボランティア・清掃活動）
- ・地域菜園・花壇づくりによる交流
- ・学校と連携した小・中学生によるボランティア活動の充実
- ・みらい塾受講者の推薦と受講後の地域活動への参加を促す（役割分担を明確にすることが重要）
- ・リタイア世代の能力を活かした活動ができる人材の発掘
- ・各地域活動団体及びボランティアグループが新たな人材の受け入れ環境を整える
- ・地域や町内会自治会単位の清掃活動の実施
- ・近隣の公園での「健康体操」「ラジオ体操」の実施
- ・「みな元気 旭！ステーション」「元気づくりステーション」への参加（介護予防活動グループ）
- ・子育て支援活動団体どうしの連携、協働を促進する
- ・地域とのつながりが薄く、情報が伝えにくい人に口コミや手渡しによる情報伝達
- ・ボランティアグループの活動について、地域活動団体全体で情報を共有する



## ■福祉保健施設の分布



## ■施設リスト

子ども	<b>認可保育所</b>	障害者	<b>障害者施設</b>	高齢者	<b>認知症対応型共同生活介護（グループホーム）</b>
	① 横浜市立白根保育園		① 光の丘		① 横浜旭の家
	② 太陽の子白根保育園		② 麦の丘		
	③ 太陽の子鶴ヶ峰保育園		③ 社会就労センターしらね		
	<b>放課後児童クラブ</b>		④ 自立サポートセンター歩		
④ 白根学童保育所	<b>障害児施設</b>				
<b>幼稚園</b>	⑤ 白根学園児童寮				
⑤ あたご幼稚園	<b>障害者地域活動ホーム</b>				
	⑥ あさひ				
	⑦ 第2 あさひの家				
	<b>地域活動支援センター（地域作業所）</b>				
	⑧ むくどりの家				